



## 2019年4月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年9月10日

上場会社名 サトウ食品工業株式会社(登記社名:佐藤食品工業株式会社)

上場取引所 東

コード番号 2923 URL <http://www.satosyokuhin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 元

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 近藤 充

TEL 025-275-1100

四半期報告書提出予定日 2018年9月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年4月期第1四半期の連結業績(2018年5月1日～2018年7月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年4月期第1四半期	5,885	9.6	132		71		57	
2018年4月期第1四半期	5,367	11.2	306		284		189	

(注) 包括利益 2019年4月期第1四半期 87百万円 ( %) 2018年4月期第1四半期 161百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年4月期第1四半期	11.34	
2018年4月期第1四半期	37.59	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年4月期第1四半期	29,660	11,918	40.2
2018年4月期	29,508	12,106	41.0

(参考) 自己資本 2019年4月期第1四半期 11,918百万円 2018年4月期 12,106百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年4月期		0.00		20.00	20.00
2019年4月期					
2019年4月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年4月期の連結業績予想(2018年5月1日～2019年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,700	4.8	310		260		220		43.71
通期	40,100	3.7	1,050	23.7	1,150	19.2	740	13.8	146.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年4月期1Q	5,075,500 株	2018年4月期	5,075,500 株
期末自己株式数	2019年4月期1Q	31,273 株	2018年4月期	31,268 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年4月期1Q	5,044,230 株	2018年4月期1Q	5,044,346 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料2ページ「1当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2018年5月1日から2018年7月31日まで)におけるわが国経済は、企業収益や所得環境に一定の改善がみられるなど、緩やかな回復基調となりましたが、米国保護主義政策による貿易摩擦、地政学リスクなどの世界経済への影響懸念もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、安全・安心かつ美味しさの追及に重点をおいた包装米飯及び包装餅製品の適正価格での安定供給に努めることを基本に、お客様の消費動向を捉えながら多様化するニーズに対応した製品開発を行ってまいりました。

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しておりますが、製品分類別の販売の動向は以下のとおりであります。

包装米飯製品では、大手量販店向け新規商品の開発や各種拡販施策に取り組み、日本古来の炊飯方法を忠実に再現した当社独自の製造技術(厚釜ガス直火炊き)により、電子レンジ2分で家庭と同様の炊き立てごはんを再現できることに加え、製品名に原料米の産地銘柄を明確に表示していることがお客様の利便性及び安全・安心意識にマッチし、堅調に推移いたしました。その結果、包装米飯製品の売上高は48億49百万円(前年同期比12.2%増)となりました。

包装餅製品では、新しい食スタイルの提案商品である「サトウの切り餅いっぼん」の拡販に加え、当社グループの包装餅に使用している「ながモチフィルム」(酸素吸収機能をもつ透明な個包装フィルム)の特性をアピールする等、シナジー効果を最大限生かすべく販売活動に取り組みました。また、秋以降の新商品発売に向けて、「サトウの鏡餅」の外装パッケージを従来の赤色を基調としたものから一新して、華やかな金色やプラチナ色を採用する大幅なリニューアル、最高級切り餅の提案商品である「サトウの切り餅 至高の餅(新潟県魚沼産こがねもち・滋賀県産羽二重糯)」のまる餅への展開、鍋料理に最適な商品として提案する「サトウの切り餅 鍋もち」の開発に加え、当社子会社のうさぎもちが昨年発売し好評を頂いた「あんこ餅」入り鏡餅の商品拡充など、さらなる需要拡大に向けた取り組みを実施いたしました。また、当社グループ独自の「ながモチフィルム」をよりいっそう認知して頂くため、新しいCMキャラクターに「りんか&あんな」(SNSで50万人を超えるフォロワーを誇る双子の小学校1年生)を起用しこの夏からの全国放映にむけて新CM「おいしさのしるし篇」を制作する等、年末の最需要期に向けた取り組みを行いました。その結果、包装餅製品の売上高は10億25百万円(同1.1%減)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高はその他9百万円(同10.2%増)を加えた58億85百万円(同9.6%増)となりました。

利益面につきましては、売上高の増加にともない売上総利益が増加した結果、営業損失は1億32百万円(前年同四半期営業損失3億6百万円)、経常損失は71百万円(同経常損失2億84百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は57百万円(同親会社株主に帰属する四半期純損失1億89百万円)となりました。

なお、当社グループは主力製品である包装餅が季節商品(特に鏡餅)であり、その販売が年末に集中するため、第3四半期連結会計期間の売上高及び利益が他の四半期連結会計期間に比べ著しく増加する傾向があります。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は296億60百万円となり、前連結会計年度末に比較し1億51百万円増加いたしました。これは、原材料及び貯蔵品(前連結会計年度末比12億29百万円減)、受取手形及び売掛金(同6億2百万円減)、現金及び預金(同4億4百万円減)、仕掛品(同1億73百万円減)、有形固定資産(同1億66百万円減)が減少したものの、商品及び製品(同27億38百万円増)の増加が主な要因となっております。

## (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債は177億41百万円となり、前連結会計年度末に比較し3億39百万円増加いたしました。これは、未払金、未払法人税等の減少等により流動負債のその他(前連結会計年度末比13億6百万円減)、支払手形及び買掛金(同2億80百万円減)、長期借入金(同2億36百万円減)、引当金(同1億98百万円減)、賞与引当金(同1億23百万円減)が減少したものの、運転資金としての短期借入金(同25億円増)の増加が主な要因となっております。

## (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比較し、配当金の支払及び当第1四半期純損失等により1億87百万円減少し、119億18百万円となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年4月期決算短信(2018年6月11日公表)において公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,269,742	1,865,220
受取手形及び売掛金	5,641,646	5,038,763
商品及び製品	1,786,374	4,525,326
仕掛品	916,632	742,776
原材料及び貯蔵品	3,352,241	2,123,097
その他	75,752	119,512
貸倒引当金	△4,520	△4,020
流動資産合計	14,037,870	14,410,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,407,601	3,374,464
機械装置及び運搬具(純額)	4,912,394	4,726,205
土地	2,347,426	2,347,426
その他(純額)	426,189	479,504
有形固定資産合計	11,093,610	10,927,600
無形固定資産	115,225	108,274
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	2,488,949	2,481,656
その他	1,793,308	1,753,224
貸倒引当金	△25,050	△25,050
投資その他の資産合計	4,257,207	4,209,831
固定資産合計	15,466,043	15,245,706
繰延資産	4,478	3,867
資産合計	29,508,393	29,660,252

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,515,522	1,235,087
短期借入金	2,600,000	5,100,000
引当金	355,064	231,637
その他	5,431,373	4,124,641
流動負債合計	9,901,961	10,691,366
固定負債		
社債	564,000	564,000
長期借入金	5,280,050	5,043,905
引当金	252,224	54,062
退職給付に係る負債	1,046,560	1,040,217
その他	356,773	347,837
固定負債合計	7,499,608	7,050,021
負債合計	17,401,569	17,741,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	543,775	543,775
資本剰余金	506,000	506,000
利益剰余金	10,639,263	10,481,175
自己株式	△35,901	△35,920
株主資本合計	11,653,136	11,495,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	724,536	685,466
退職給付に係る調整累計額	△270,850	△261,631
その他の包括利益累計額合計	453,686	423,834
純資産合計	12,106,823	11,918,864
負債純資産合計	29,508,393	29,660,252

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年5月1日 至2017年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年7月31日)
売上高	5,367,882	5,885,553
売上原価	3,320,916	3,610,808
売上総利益	2,046,965	2,274,745
販売費及び一般管理費	2,353,653	2,407,381
営業損失(△)	△306,687	△132,636
営業外収益		
受取利息	65	44
受取配当金	4,350	4,611
受取賃貸料	49,411	45,942
その他	42,572	62,089
営業外収益合計	96,399	112,688
営業外費用		
支払利息	17,771	17,424
賃貸費用	26,388	21,039
その他	30,240	13,448
営業外費用合計	74,400	51,912
経常損失(△)	△284,689	△71,861
特別利益		
固定資産売却益	289	5,469
特別利益合計	289	5,469
税金等調整前四半期純損失(△)	△284,400	△66,392
法人税、住民税及び事業税	6,538	6,564
法人税等調整額	△101,308	△15,752
法人税等合計	△94,769	△9,188
四半期純損失(△)	△189,630	△57,203
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△189,630	△57,203

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年5月1日 至2017年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年7月31日)
四半期純損失(△)	△189,630	△57,203
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,487	△39,070
退職給付に係る調整額	9,300	9,218
その他の包括利益合計	27,787	△29,852
四半期包括利益	△161,842	△87,056
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△161,842	△87,056
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。